

● 草の根パートナー型

平成25年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ソロモン
2. 事業名	New3R（リデュース、リユース、リサイクル+リターン）の理念を踏まえた官民協働による家庭ごみの分別収集システム構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ソロモン諸島の首都ホニアラ市では、人口の増加や国内で処理できないプラスチック製の輸入物品などが急増し、家庭ごみの分別収集体制が整備されていない現状にさらに追い打ちをかけ、市民はごみを道路際に放置している状況で衛生面・環境面でも問題が生じており、行政の大きな課題となっている。これらの問題解決を遅延させているごみ収集車両の不足、資源回収のしくみの欠如、排出ごみ量等の情報不足といった現状を改善し、市民・事業者・行政が協働で廃棄物の適正管理を行っていく体制の整備が急務となっている。
4. プロジェクト目標	市民・事業者・行政が一体となった「ホニアラ市官民協働会議（以下、「協働会議」と略す）」において、New3Rを意識した「家庭ごみの分別収集システム」が確立され、ごみの削減や資源物を有効活用に向けた体制が整備される。
5. 対象地域	ホニアラ市
6. 受益者層	ホニアラ市が家庭ごみ収集を行っている地域の住民（約4万人）、市役所職員、リサイクル事業者
7. 活動及び期待される成果	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「家庭ごみの分別収集システム」の構築に向けて「協働会議」が機能する 2. 家庭ごみの削減や資源物回収を推進する人材が市民・事業者・行政の各分野で育成される 3. 市民や事業者と連携したNew3Rの具体的な実践方法や実施体制が整備される 4. 家庭におけるNew3Rの実践例やごみ排出のルールが市民に周知される 5. 行政ゾーンにおいて「家庭ごみの分別収集システム」に基づいた業務が実施される <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 モデル地域での「家庭ごみの分別収集システム」の構築に向けて「協働会議」を設置する 1-2 西宮市関係者がホニアラ市を訪問し現状調査と「家庭ごみの分別収集システム」構築に向けた協議を行う 1-3 「家庭ごみの分別収集システム」の普及に向けて協議を継続実施する 2-1 「協働会議」で家庭ごみの分別収集システム検討にあたっての基礎学習を実施する 2-2 家庭ごみの分別収集システムの策定に向けた市職員などへの実践研修を行う 2-3 ホニアラ市「協働会議」関係者を対象とした日本での研修を実施する（2回） 2-4 市民・事業者などを対象に「New3R推進協力員」養成研修を実施する 3-1 New3Rを意識した家庭ごみの減量化に向けた取り組みを決定する 3-2 市民参加型リユース活動ツールを作成し、リユースバザーを開催する 3-3 民間企業と連携した資源回収方法の検討とリターン用保管施設を設置する 4-1 効率的な家庭ごみの収集ルートを再検討し収集ポイントを定め、市民に周知するための表示板を設置する 4-2 市民向け冊子「ホニアラごみ減量作戦」（仮称）を作成する 4-3 各地区で新たな家庭ごみの分別収集方法の説明会を行う 5-1 「家庭ごみの分別収集システム」を実行するための運用マニュアルを策定し市職員がこれに基づいた業務を遂行していく。 5-2 行政が事務局となり、協働会議が主催して、今後の自立的な活動に向けたキックオフイベント（シンポジウム）を実施する。
8. 実施期間	2014年4月～2017年3月（3年）
9. 事業費	49,966千円
10. 事業の実施体制	カウンターパート：ホニアラ市役所 協力団体：ソロモン諸島環境保全・気象省環境保全、LEAF会員企業（日本）など 実施主体：ホニアラ市役所、地元住民、地元事業者など
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人子ども環境活動支援協会
2. 活動内容	持続可能な社会システム構築に向けた各種取り組み 西宮市での実践事例をもとにした国際協力事業